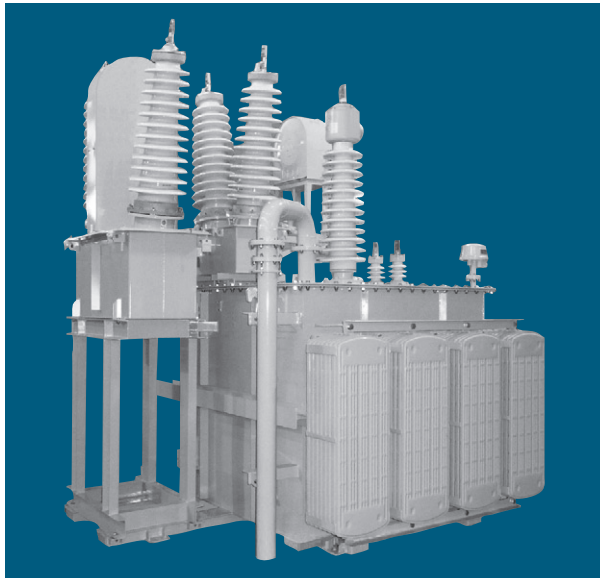


高調波抑制装置



新幹線車両基地において、交流30kVき電線路の高調波共振を抑制します。

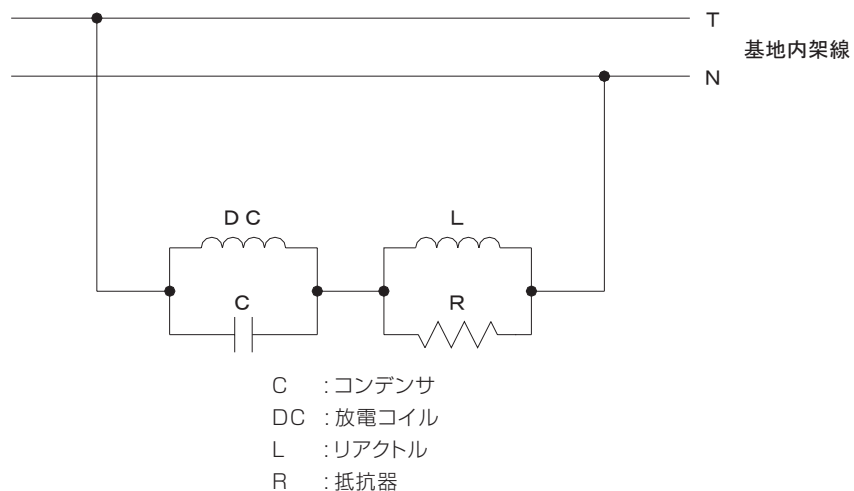
西日本旅客鉄道㈱と共同開発品

装置構成

高調波抑制装置は、コンデンサ、放電コイル、抵抗器及びリアクトルにより構成され、高圧側にコンデンサと放電コイルを、低圧側にリアクトルと抵抗器を直列に接続(リアクトルと抵抗器は並列に接続し、同一容器に収納)されています。

構成機器(コンデンサ、放電コイル、抵抗器およびリアクトル)は、一体構造となっています。

構成図例



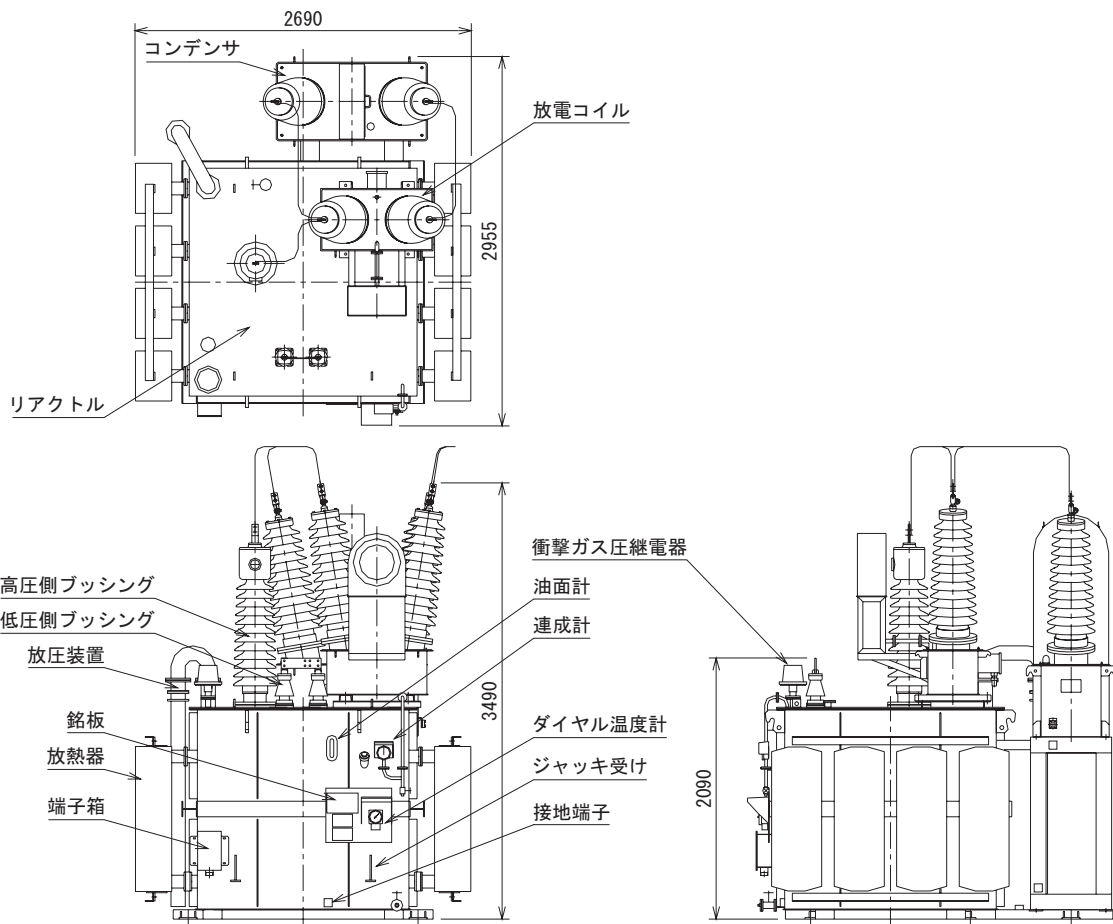
電力用機器

高調波抑制装置

製品仕様

定格電圧		30kV
相数		単相
定格周波数		60Hz
冷却方式		油入自冷式
コンデンサ	定格基本波電流	13.7A
	定格高調波電流	6.0A
	定格静電容量	1.2 μ F
放電コイル	放電容量	1000kvar
リアクトル	定格基本波電流	13.6A
	定格高調波電流	5.0A
	定格インダクタンス	33mH 66mH
抵抗器(リアクトルと同一容器に収納)	抵抗値	125 Ω
	定格電流	4.3A
概略質量		8300kg

寸法図



交フーA02